

笑顔 2023

令和5年4月25日 NO3
柏市立田中小学校 並木孝樹

授業参観・懇談会ありがとうございました！

先日は、授業参観・懇談会におこしいただきありがとうございました。たくさんの保護者の方においでいただき嬉しく思いました。子ども達も心なしか、嬉しそうで、照れくさそうで、様々な表情が見られました。子ども達のかわいらしい姿でした。

さて、懇談会の冒頭でも放送しました、本校の教育目標と目指す子ども像、目指す教師像についてです。別紙でもお送りしております。学校の教育目標は以下です。この目標に向かっていくために教職員で誠心誠意取り組んでまいります。

自ら学ぶ意欲をもった、人間性豊かな、たくましい田中っ子の育成

この目標を目指していきますが、一番の最上位目標は次です。

子ども・保護者・教職員・地域の最上位目標 みんなが「笑顔」になる学校

全ての活動において最終的に「笑顔」になる学校を皆様と共につくっていきたいです。今年度目指す児童像は次です。

- ①あいさつ・返事・後始末ができる子
- ②温かい言葉を遣い感謝と思いやりの心をもつ子
- ③自分で考え、行動し、最後までがんばる子

①の「あいさつ・返事・後始末」は教育哲学者の森信三が提唱したものです。しつけには3つ必要である。この3つができればあとは何とでもなるとも言っています。とても共感できることです。挨拶の語源を調べると、「挨」は「心を開く」、「拶」は「相手に近付く」というものがあります。他にも諸説あります。心を開いて相手に近づいていくために挨拶がとても大事だと言えるでしょう。田中小が挨拶の学校と言われるようにしたいです。また、返事も重要です。名前を呼ばれても返事をしない子がいます。返事があるかないかで相手の印象も大きく変わります。担任時代は返事をするまで名前を呼び続けました。先生達も意識しています。挨拶と同じですね。

後始末はいろいろありますが、例えば「靴を揃える」です。田中小の靴箱を毎日見っていますが、綺麗にそろっていることが多いです。そうきんがけも同様です。嬉しい光景でした。こんなエピソードがあります。ある社長さんが会議の後の宴席で相手側の社員と会合した時の話です。小上がりの所で靴を脱いだ後、手できちんと揃えていた社員を見て社長さんはこの人は信頼できると判断したそうです。小さなことですが、見ている人は見えています。大事なことだと思います。微差は大差に繋がります。ご家庭でも声をかけていただければ幸いです。

